

<第63回日本油化学会年会>

しあわせをつなぐ！自然と協奏，長野で共創！

1. Welcome

今回、第62回日本油化学会年会（山形県米沢市）の実行委員長を務められた山形大学野々村美宗先生よりバトンを受け、信州大学工学部（長野県長野市）にて第63回年会を令和7年9月3日（水）～5日（金）に開催いたします。上杉謙信公の所縁の地“米沢市”から謙信公が武田信玄公と12年余り戦った「川中島」がある“長野市”で開催します。長野市は長野県北部に位置しており、飯縄山、戸隠山、黒姫山などの北信五岳を背景に、市内の中央には千曲川、犀川が流れています。ぜひ、長野の自然と協奏いただき、日本酒、お蕎麦、おやき、昨年の米沢牛に負けず劣らず“リングを食べて育った信州牛”など、長野の郷土料理をお楽しみいただければ幸いです。



日本油化学会は、その名の通り“油”関連の研究者・技術者が、学术界・産業界から集結し、積極的に研究成果を発表し、事業を企画・運営しております。今回の年会でも、大学・研究機関・産業界の協奏・共創の場として、シーズとニーズのマッチングを図る **産学連携シンポジウム** と、 **Select Lectures 受賞講演** を開催します。産学連携シンポジウムでの新しい出会いが、思いがけない未来を創り出すきっかけとなることを期待しています。Select Lecturesは、会員が望む斬新な研究成果を公募・選抜して発表の場を提供するものです。一般発表は6/27（金）締切りまで受け付けます。たくさんの応募をお待ちしています。

長野市へは、東京、北陸や東北方面からは新幹線、東海方面からは特急しなの、関西・九州方面からは飛行機や新幹線にてお越しいただけます。長野駅東口から信州大学 長野（工学）キャンパスまでは、約1.6 km、専用シャトルバスで5～10分となります。宿泊は市内に十分なビジネスホテルがあるので各自でご予約下さい。コンベンションセンターの情報では今のところ会期中にブッキングする学術会議やコンサート等の大きなイベントはございません。長野でお会いできることを楽しみにしております。

最新の情報は、年会website <<https://x.gd/0YZRt>>をご覧ください。



第63回日本油化学会年会

The 63rd Annual Meeting of the Japan Oil Chemists' Society

2025年 9月3日（水）～5日（金）

しあわせをつなぐ！
自然と協奏、長野で共創！

テーマ

会場

信州大学
長野（工学）キャンパス



2. 重要な日程

・一般講演（口頭およびポスター）

受付期間： 4/21(月)～6/27(金)→7/4 (金)17:00

※発表登壇者は会員である必要があります。

※各賞の受賞には審査申し込みが必要です（詳細情報はwebsiteをご覧ください）。

プログラムの発表： 7/22(火)web公開、オレオサイエンス8月号誌上公開

・参加登録&懇親会

早期割引受付： 4/21(月)～7/30(水)、 通常料金受付： 8/1(金)～9/5(金)、

懇親会： 9/4(木)18:30 ～20:30、シャトレ・ゼホテル 長野にて開催。

3. Award of the JOCS's Selected Lecture

Session 1 Oleo materials and nanotechnologies

・脂質ナノ粒子製剤と細胞との相互作用に基づいたMembrane Lipid Therapyを指向するナノ粒子製剤の設計とその性能評価

岡本行広（大阪大学大学院）

Session 2 Science on lipids, fats and oils, nutrition, health function and foods

・Studies on Astaxanthin Geometrical Isomers: Progress in Analysis, Isomerization, Extraction, and Formulation

Antara Ghosh（Faculty of Science & Technology, Meijo University）

・脂質酸化依存性細胞死フェロトーシスの制御因子の同定 -PRDX6 による細胞内のセレン運搬を解明-

伊藤隼哉（東北大学大学院）

Session 3 Colloid & Interface science, surfactants, detergents and cleaning

・高含気かつ安定なオレオフォームの創製

松尾 一貴（プレミアムアンチエイジング株式会社）

・四級アンモニウム塩系ジェミニ型およびトリメリック型界面活性剤の抗菌メカニズムの解明

河合 里紗（奈良女子大学理学部研究院）

4. 令和6年度 学会賞等の受賞講演 9月4日（木）午後

学会賞は油化学または油化学工業に顕著な功績のあった研究成果に授与する当学会で最も権威のある賞です。工業技術賞は油化学工業に関連する顕著な技術成果に授与し、そして進歩賞は若手の優秀な研究成果に授与します。学会賞の受賞講演は60分、工業技術賞と進歩賞の受賞講演は30分を予定しています。

各賞の募集要項を本誌に掲載しました。お問い合わせと応募は8月31日までに事務局金子（y-kaneko@jocs.jp）へ。

学会賞 水産油脂の栄養機能に関する研究 福永 健治（関西大学）

<授賞理由> 未利用水産資源に着目した本研究は、油化学の発展に新たな視点をもたらす重要な成果である。特に、高度不飽和脂肪酸およびそのグリセロリン脂質の有用性を解明し、がんや脂質代謝異常の改善効果を実証したことは、油化学の基礎研究のみならず、栄養機能の向上や産業応用の可能性を大きく広げるものである。その社会的意義は高く、ヒトの健康寿命延伸への貢献も期待される。

さらに、本研究は新規脂質の合成に加え、パイロットプラント規模での抽出・精製技術の確立に至り、経済性や持続可能な開発目標（SDGs）の視点からも、実用化へ向けた極めて広範な研究成果を示した。これらの成果は、油化学および油化学工業の発展に顕著な影響を与えるものであり、その卓越した貢献を高く評価し、ここに学会賞を授与することとした。



工業技術賞 **確かな分析技術に基づく 高付加価値な「健康オイルこめ油」の製品化と
次世代型の開発に向けた戦略**



澤田一恵¹⁾



松木 翠¹⁾



橋本博之¹⁾



小倉由資²⁾



伊藤隼哉³⁾



仲川清隆³⁾



築野卓夫¹⁾

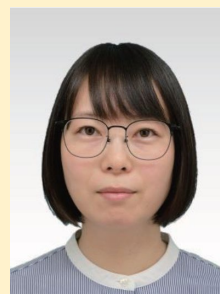
(1)築野食品工業株式会社 2) 東京大学大学院 3) 東北大学大学院)

＜授賞理由＞まず、受賞者らが、こめ油に含まれる種々の機能性成分のそれぞれの総量を正確かつ迅速に測定できる分析技術を確立して、一連の機能成分の含量を保証した「健康オイル こめ油」というコンセプトを満たす製品の開発につなげたことを高く評価した。

さらに、様々な機能を有する各機能性成分の分子種を個別に測定できる分析法の開発に取り組み、特に、こめ油に特徴的な機能性成分であるγ-オリザノールの分子種分析法を確立して、新たな分子種の発見と作用機序を解明し得る技術を構築した。本技術によって、「次世代型 健康オイルこめ油」へと展開が期待されることも考慮し、工業技術賞を考慮することとした。

進歩賞 **生産酵母の改良によるバイオサーファクタントの量産化と構造制御に関する研究
雑賀 あずさ（産業技術総合研究所）**

＜受賞理由＞マンノシルエリスリトールリピッド（MEL）は、環境負荷の低減と持続可能な産業発展に貢献する重要なバイオサーファクタントの一種である。本研究では、その生産性向上を目指し、生産酵母の構造解析と遺伝子工学的手法を駆使することで、従来の2倍に及ぶ生産性向上を実現した。この革新的な成果は、オレオサイエンス分野における基盤技術の発展のみならず、関連産業の環境対応力強化に大きく寄与するものであり、持続可能な生産プロセスの実現に向けた重要な一歩となる。従来の知見を大きく革新し、科学技術の進歩を促進する成果として高く評価されることから、ここに進歩賞を授与することとした。



5. 参加申し込み

参加登録費は以下の通りです。なお、**講演者（登壇者）の方は**、本会会員あるいは本会の法人会員である企業・研究機関に所属している方に限ります。まだ会員登録をされていない方は、この機会に会員登録をお願いします。また、会員の方が誤って会員外の参加登録費を支払ってしまうと、払い戻しに必要な金融機関の手数料をご負担いただくことになります。ご注意ください。なお**講演要旨集は、8月18日（月）web公開**され、閲覧とダウンロードが可能です。冊子体は国会図書館・事務局での保存のみとなります。

Registration categories	Early-bird registration April 12 ~ July 31	Regular registration August 2 ~	課税区分
日本油化学会正会員	11,000 Yen	16,000 Yen	不課税
日本油化学会法人会員	12,000 Yen	18,000 Yen	不課税
日本油化学会学生会員	3,000 Yen	5,000 Yen	不課税
名誉会員・65歳以上の正会員	無料招待	無料招待	不課税
会員外（学生以外）	22,000Yen	29,000Yen	課税・税込み
会員外（学生）	4,000Yen	5,000Yen	課税・税込み
年会参加者の配偶者	6,000Yen	8,000Yen	課税・税込み

日 時： 9/4（水）18:30～20:30

会 場： シャトレーゼホテル長野

参加費： 懇親会費は以下の通りです。

Registration categories	Early-bird registration April 12 ~ July 31	Regular registration August 2 ~
学生以外	10,000 Yen（不課税）	16,000 Yen（課税・税込み）
学生	3,000 Yen（不課税）	5,000 Yen（課税・税込み）

6. 第63回年会へのご支援のお願い

- 1) **開催主旨**：この年会は、当学会が年に1回開催する最大の学術会議です。産官学から約500名の会員が参加し、動植物由来の油脂に関する最新の研究成果を基に、日常生活を支える食品、医薬品、化粧品、洗剤等に応用して人々の生活を豊かにする価値へと繋げるための討論を行います。
- 2) **ご支援をお願いしたい項目**
- a) **ご寄付** 1口5万円（不課税）で寄付を募ります。ご寄付の主旨に近い項目に寄付の口数を記入し、合計口数と金額をお知らせください。ご寄付1口につき1名を懇親会にご招待いたします。
- b) **展示ブース** 1展150,000円（税込み）にて募集いたします。展示は、人通りがある年会受付から討論会場までの途中の教室に設置頂きます。1展150,000円（税込み）にて募集いたします。展示ブース1口につき2名を懇親会にご招待いたします。※誠に恐縮ですが、展示品等の運搬費用等についてはご負担をお願いします。
- ブース仕様**
- ・基本設備：社名板／展示机（講義用机）／パネル（幅900×高2,100mm）1枚／椅子2脚／白布使用。電力：原則として単相100V・15A（1,500W以内）。
 - ・ブース寸法：幅1,800mm／奥行900mm。
- 設営日・撤去日**
- 設営日9/2(火)16:00以降、撤去日9/5(金)16:00以降
- c) **バナー広告**
- 1口55,000円（税込み）にて募集し、年会のwebsiteにバナー広告を掲載いたします。
- 3) **募集期間** 1月6日(月)～8月15日(金)
- 4) **申込み・問い合わせ先**
- 年会website（<https://x.gd/zDIP9>）から申込み用紙をダウンロード頂き、ご支援内容を記載して下記のアドレスへメールでお送りください。申込書が届き次第、請求書を返信させていただきます。
- （公社）日本油化学会 事務局 金子行裕
- E-mail：2025nagano@jocs.jp ※ご不明の点はご遠慮なくお尋ねください03-3271-7463。

5) 振込口座

ご請求書が届きましたら下記口座にお振込みください。

【銀行名・支店名】 三菱UFJ銀行八重洲通支店（店番022）

【預金種目・口座番号】 普通預金 0506603

【名義】 公益社団法人 日本油化学会（コウエキシャダンホウジン ニホンユカガクカイ）

ご支援くださった皆様へ感謝し、年会会場とwebsiteに御社ロゴを掲載して参加者にお知らせしたいと存じます。